

女性消防職員向けアンケート結果まとめ

【女性消防職員の現状】

- 大規模・中規模本部では、予防、救急隊業務に就いている割合が高い。一方、小規模本部では、消防隊も含め まんべんなく業務を行っている傾向。（規模別問 9）

【警防業務への意識】

- 消防隊・救急隊には、1 人まで配置可能とする回答が最も多かったが、5 人の消防隊の場合には 2 人まで配置可能とする回答が 3 割程度あった。（規模別問 11、12）

【自身のキャリアパスへの意識】

- 5 年後の自分の立場や業務内容を具体的にイメージできるか、本部にモデルとなるような職員がいるか、職場内に悩みを相談できる女性がいるか、については、小規模になるほど「できない」「いない」が多かった。（規模別問 18、19、23）
- 現在の業務に やりがいを感じている人が多く、満足度が高い状況が伺えた。一方、管理監督する立場になりたいと考える人は、約半数だった。（全体版問 15、17）

【仕事と家庭の両立支援策】

- 支援策として必要だと考えられるのは、仕事と家庭の両立支援策の充実や、周囲の職員の理解であるとする回答が多かった。（全体版問 22）
- 育児と仕事を両立させていく上で、非常時の参集が大きな困難であると感じている人が多く、緊急に子どもを預けることができる場所の確保に対する支援を望む人が多かった。（全体版問 34、35）

【庁舎施設等について】

○施設に不満を感じる人の割合は4割を超え、どちらかというと大規模本部や、女性割合が多い本部において高かった。(規模別、女性比率別問37)

【採用等について】

○女性が増えないのは、女性が働く職場であるというイメージがないとの回答が最も多かった。(全体版問27)